認定事業者の情報基盤の拡充と産学官による匿名加工医療情報の利活用の展開の見込み（イメージ）

（別添）

○利活用の成果が医療・介護の現場に還元され、現場のデジタル化、ICT化、規格の整備等の取組とあいまって、利活用可能な医療情報が質的・量的に充実することにより、産学官による利活用がさらに加速・高度化する好循環を実現。



※1　高齢者医療確保法に基づき、一部は保険者に提供され、特定健診データとして活用。
※2　質の高いバリデーションを実施しているMID-NETの参加医療機関は、現在の23病院から拡大を検討中。